

シース接地工事における接地母線について

Ground Bus for Sheath Grounding Construction

1. ケーブルシース接地工事について

ケーブルシース接地回路構築には、終端組立て、中間接続部組立ての際に図1に示しますようにお客様にて準備されている接地母線ならびに接地指示箇所へ接地線（IV等）にて接続工事を実施しております。

図1は両端接地の例になります。片端接地のみで他端部や中間接続部の接地は施さない場合もあります。

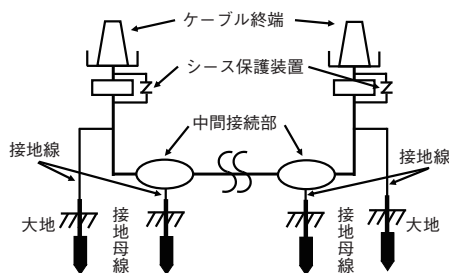


図1 ケーブル線路図（両端接地の場合）

2. ケーブルシース接地用の接地母線準備について

ケーブルメーカーからの提案またはお客様からご指示頂くシース接地回路図に基づき、接地工事を実施する際には、シース接地先となる接地母線または接地接続先は、お客様にて準備されていることが前提となります。

実際に工事開始前の現場調査・打合せなどで接地母線が無い場合には、決定頂いたシース接地回路図の通りとするため接地母線の準備を再度お願いする場合がありますが、それでも着工時に準備されていないケースが少なからずあり、その際には決定頂いたシース接地回路図では無く、その都度、現場状況で対応可能なシース接地回路に急きょ変更するような好ましくない事例もあります。

万全なる準備によって適切なシース回路構築をし、ケーブル線路の信頼性を確保するため、下記に示すように接地母線の準備をお願いしています。

- ①ケーブル接地用の接地母線の準備をお客様にて調整の上、準備をお願いする。
- ②ケーブル接地用の接地母線の位置は図面もしくは写真等をケーブルメーカーに提示をお願いする。

③作業性や保護効果を高める（接地線のインピーダンスを低減する）目的で、極力ケーブル終端及び中間接続部の据付位置の近辺に接地母線配置をお願いする。

④接地母線ではなく、機器箱接地とする場合にはその旨をご指示いただく。なお、機器箱接地箇所が塗装されている場合には処理できないので、あらかじめ塗装無しでの準備をお願いする。



図2 準備済みの接地母線の例

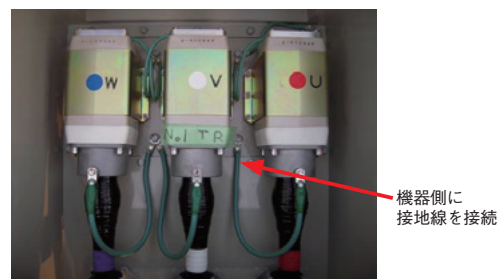


図3 機器箱接地の例

問合せ先：〒441-0304 愛知県豊川市御津町佐脇浜式号地1-10
昭和電線ケーブルシステム(株)
電力システム部 電力ケーブル課 技術グループ
電話(0533)76-2359 FAX(0533)76-3691